

秋田公立美術大学の学生（在学生・卒業生）対象

秋美NFTコレクション_作品募集！

【概要】

あなたの作品をNFTアートにして流通してみませんか？

NFT（Non-Fungible Token）は、デジタルアートの新しい可能性を広げています。未来のクリエイターである学生のみなさん、作家活動する卒業生のみなさんから、ユニークなNFTアートのアイデア及び既存作品を募集します。選ばれたアイデアは、プロのサポートのもとNFT化され、展示・販売のチャンスも！

＜こんな人におすすめ＞

- 自身の作品を流通・販売してみたい。
- 自身の作品を他者と共有したい。展示発表の機会を探している。
- NFTはよくわからないが、ちょっと興味がある。実践してみたい。

NFT化することで、作品の著作権は作家が所有しながら、作品の所有権を販売できる仕組みです。NFT って何？という方も実践を通して学べる機会です。

【応募資格】

- 秋田公立美術大学の学生（在学生・卒業生）であること
- 個人またはグループで応募可能
※但し、作品販売の際に代表者が責任を持って出品管理すること
- 応募者が著作権を保有していること
- NFT化（デジタルデータや所有権の取得）が可能であること
※どのようにデジタル化・NFT化するか提案も合わせて提示すること

例) 3Dプリンターを用いて3Dデータ化する
鑑賞体験の参加権利（チケット）をNFTにする
テーマに即したお題を購入者が提示できる権利のNFT（受注生産）

【条件】

- 1作家につき複数作品の応募が可能です
※1タイトルで複数のNFTを提案。また、複数タイトルの作品をエントリーすることも可能です。

- NFT化した作品は、NFTや暗号資産を管理するための「αU wallet」でのNFT化となり、「αU market」での販売展開となります
- 秋田市ふるさと納税の返礼品としての出品も同時に行います
- 必須ではありませんが、7月に開催する説明会等への参加を推奨します

【募集期間】

2025年7月3日（木）～8月9日（土）23:59まで

【提出内容】

1. 作品タイトル
 2. 作品概要（400字以内）
 3. 作品画像（イメージでも可）
 4. 希望するNFTの形式（静止画／動画／音声／インタラクティブ など）
 5. 氏名・学年（卒業生の場合は卒業年度）・連絡先メールアドレス
 6. 作家名・プロフィール
-

【選考基準】

- NFTとしての実現性／NFTの仕組みや特性を活かした提案となっているか
 - 将来のトレンドを見据えた作品であるか
 - 秋田公立美術大学の特性を活かした作品であるか
-

【審査員・メンター】

▶ 砂原 哲 SATOSHI SUNAHARA / デザインプロデューサー

1970年埼玉県熊谷市生。東京都荒川区出身。上智大学文学部哲学科卒業後、映像プランナー等を経て、1998年に第二電電株式会社(現KDDI株式会社)へ入社。2001年、auブランドの価値向上を目的に携帯電話のデザインを革新するプロジェクトを立ち上げ、コンセプトモデルを発表。2002年au Design projectとして本格始動し、2003年INFOBARを開発・発売。以降、深澤直人氏、マーク・ニューソン氏、草間彌生氏など数多くのデザイナー、アーティストとの協働により、70機種を超えるau Design project /iidaブランドの製品企画・プロデュースを手がける。INFOBAR、talby、neon、MEDIA SKINがニューヨーク近代美術館(MoMA)に收藏されるなど、手がけた携帯電話・スマートフォンは国内外様々な美術館にコレクションされている。グッドデザ



イン賞金賞、DFAアジアデザイン賞大賞など受賞歴多数。著書に「ケータイの形態学」(六耀社)がある。

▶ 学内審査員：藤 浩志 (AR)、尾花 賢一 (VA)

▶ 外部メンター：青木 里帆 (KDDI株式会社)

【特典】

- KDDIのαUwallet上で流通できるNFTとして、無償でNFT化
- αU marketにてNFT作品の販売（売り上げの一部は作家へ還元）
※アーツセンターあきたがKDDIとの窓口となって作品の販売管理を行います。
- 秋田市ふるさと納税返礼品として出品（売り上げの一部は作家へ還元）
- 教員やアーツセンターあきたのスタッフサポートの元、展示販売の機会提供

【応募方法】

下記フォームよりご応募ください：

▶ <https://forms.gle/nPs8Dkw2VGMPafdZ8>



※画像等のファイルがアップロードできない場合はメールにてご連絡ください。

メール： research@artscenter-akita.jp

【注意事項】

- NFT化にあたり内容の一部変更をお願いする場合があります
- 提出いただいたアイデアは、広報・展示・発表等に使用させていただく場合があります

【スケジュール】

7月3日（木）募集開始

7月15日（火）12:10～12:45

説明会&相談会① @秋田公立美術大学 レストハウス2階

7月26日（土）16:00～17:00

説明会&相談会②@美大サテライトセンター(フォンテAKITA 6F)

8月9日 応募〆切 → 8月下旬 審査会

8月下旬 結果発表

9月 NFT化に向けて調整

※NFT化に向けて、アーツセンターあきたのスタッフ及び、
KDDI担当者との相談・調整

9月下旬 NFT化にかかる素材締め切り

10月 NFT販売開始

11月 東京での展示販売会の開催（未定）

2026年度

2月 「AKIBI ARTs MARKET 2025」でのNFT作品の出品
※希望者は作品展示も可

【ご案内①】 説明会の開催

作品募集についての説明会を開催します。当日はアーツセンターあきたの担当者とNFT化のサポートをしてくださるKDDI株式会社の青木里帆氏にもご参加いただきます。

また、終了後に個別相談も受け付けております。ご希望の方は参加申込フォームにてご予約ください（先着順）

オンライン参加をご希望の方もフォームにてご予約お願いします。別途メールにてURLをご案内いたします。

【1回目】

日時 | 7月15日（火）12:10～12:45

会場 | 秋田公立美術大学 レストハウス2階

【2回目】

日時 | 7月26日（土）16:00～17:00

会場 | 美大サテライトセンター(フォンテAKITA 6F)

※いずれの会もオンラインでの参加が可能です。

▶ 説明会申込フォーム

<https://forms.gle/ybQERg9tDAW1L1Jx9>



【ご案内②】 NFTに関する業界研究会

1 回目 「アート×技術 ―秋美NFTコレクションに関する講義―

ゲスト講師：砂原哲（すなはら さとし）／デザインプロデューサー

- 日時：7月24日（木）16:10～17:40

- 会場：秋田公立美術大学 講義室 2

審査員の砂原哲氏による活動紹介と、NFTアートの事例を紹介いただきます。

本公募の参考にもなる貴重な機会ですので、合わせてご参加ください。

2 回目 「マンガの広がり～マンガ文化・産業からNFTまで～」

ゲスト講師：山内康裕（やまうち やすひろ）／マンガナイト代表理事

- 日時：9月30日（火）14:30～16:00

- 会場：秋田公立美術大学 講義室 3

講師プロフィール

山内康裕（やまうち やすひろ）／一般社団法人マンガナイト代表理事

1979年生まれ。2009年に結成したマンガナイトを2020年に一般社団法人化し、“マンガ”を事業領域とした拠点営業、街づくり、展示事業等の社会事業を展開している。一般財団法人さいとう・たかを劇画文化財団代表理事、一般社団法人MANGA総合研究所副所長理事、東京工芸大学芸術学部マンガ学科非常勤講師。

【主催・お問い合わせ】

主催：秋田公立美術大学 学生課

運営：NPO法人アーツセンターあきた（担当：岩根）

お問い合わせ：018-888-8137（平日9:00～17:00）

メール：research@artscenter-akita.jp